



議会だより

北栄



「事件です!?
3月1日開港」

1月3日「第5回青山剛昌先生と話そうDAY!! 2015」

高校生議会議会を初開催

P.2

指定管理者を決定

P.4

町政

ここを問う

P.5



北栄町議会

検索

<http://www.e-hokuei.net>

高校生議会を初開催

1月14日、鳥取中央育英高校の生徒15人が参加し、議長を除く14人が、緊張しながら17の一般質問をおこないました。高校生ならではの質問に、執行部も真剣に答えていました。この様子はTCCをご覧ください。(2月8日(日)午後1時から繰り返し放映されます。)

※事務局役の横山さんは当日病気のため欠席でした。



- 答弁**
- ①実施に向け考えてみたい。
 - ②バスは費用対効果の面からも実施は難しい。
 - ③個人や企業による設置が、さらに進むことを期待。

- 質問**
- ①手話をテーマにしたドラマをつくり、関心をひいては。
 - ②町内観光場所を巡る100円バスを計画しては。
 - ③空き地を活用してソーラーパネルを設置しては。



- 答弁**
- ①大栄運動場(大栄小前野球場)の活用が考えられる。
 - ②暗い役場車庫裏から夢地橋間に設置を検討。
 - ③設置権限は県。自分で弁当をつくれれば親の負担がへる。

- 質問**
- ①町の空き地に、共同利用のソフトボール練習場設置を。
 - ②由良駅から高校までの街灯を増やしてほしい。
 - ③学校に食堂を設置すれば親の負担がへり地産地消につながり、働き場所もできる。



- 答弁**
- ①既存の施設や地域資源を最大限に活用する。
 - ②民間企業が行うのがベスト。町は側面支援。
 - ③大型店舗は法律等の規制により誘致は困難。
 - ④プロモーションビデオを使った情報発信を検討。

- 質問**
- ①宿泊施設やコナンのテーマパークを。
 - ②温泉施設を作り、賑わいのある町づくりをしては。
 - ③周辺自治体とともに巨大ショッピングモールの誘致を。
 - ④観光客の集客のため、国内宣伝用のビデオを作っては。



- 答弁**
- ①町では無理。民間で、そのような動きがあれば大いに歓迎。
 - ②県立美術館は中部への誘致を最優先で考えている。
 - ③図書館で塾は出来ない。目標の達成のための家庭学習という自覚を。

- 質問**
- ①まんが・イラスト系の専門学校を設立しては。
 - ②まんが博物館および県立美術館を設立しては。
 - ③学力向上のため、図書館の閉館時間を延長し、塾を開設しては。



- 答弁**
- ①お試し住宅や地域おこし協力隊、移住相談会、子育て環境の整備など実施。
 - ②すでに実施しているグループがある。
 - ③北栄町に適した企業、施設の誘致を研究する。
 - ④放課後児童クラブ等様々な保育サービスを実施。

- 質問**
- ①移住・定住の促進のための取り組みは。
 - ②町のPRのため、農家へのホームステイはどうか。
 - ③県内にない分野の企業誘致で新たな職場を作っては。
 - ④子育て支援は、どのようなことが出来るか考えるか。

ここを問う

指定管理者を決定

12月定例議会では、提案された条例や補正など、22議案を可決しました。3年が経過した町の様々な施設の指定管理者を新たに5年の期間で決定しました。その他5件の陳情審査がありました。

質問事項	ページ	質問事項	ページ
北栄町が目指す農業は (宮本)	5	庁舎統合問題 (前田)	12
北栄町農業振興基本計画の周知の方法は (浜本)	6	北条放水路地盤沈下対策について (池田)	13
北栄町農業振興基本計画について (斉尾)	6	下神ゴルフボール飛来被害について (池田)	13
安倍内閣の農政改革について (長谷川)	7	運転免許自主返納に支援を (田中)	14
北栄町農業振興基本計画について (阪本)	7	公平な自治会特別交付金 (前田)	14
「弁当の日」の取り組みについて (森本)	8	北栄町に移り住む人への手厚い支援を (森本)	15
子ども達の安全対策 (油本)	8	地域おこし協力隊について (斉尾)	15
北栄町障がい者計画について (飯田)	9	税金・使用料等の値上げの可否について (池田)	16
地域見守り支えあい組織について (町田)	9	合併10周年と地方創生のまちづくり (宮本)	16
生活困窮者自立支援法について (津川)	10	北浜中学校用地の今後は (前田)	17
改定介護保険認定制度について (長谷川)	10	地方創生事業について (前田)	17
不妊治療について (飯田)	11	コナンの町づくりについて (斉尾)	18
ピロリ菌の検査について (斉尾)	11	自治会の太陽光発電設置の補助事業見直し (阪本)	18
庁舎統合について (池田)	12		

条 例	補正予算	そ の 他
職員の配偶者同行休業に関する条例 (地方公務員法改正に伴うもの)	一般会計 (第5号) (北条中部室棟等防水工事等)	鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議 (負担割合計算 変更)
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 (子ども・子育て支援新制度に伴うもの)	一般会計 (第6号) (大栄小中通学道路路面補修設計)	指定管理者の指定 (お台場公園等 (株)チュウブ 5年間)
職員定数条例の一部改正 (定数外職員規定変更)	介護保険特別会計 (第2号) (人件費及びシステム改修費)	指定管理者の指定 (中央公民館大栄分館 NPOまちづくりネット 5年間)
職員の給与に関する条例等の一部改正 (人事院勧告による勤勉手当0.15月の増額ほか)	下水道事業特別会計 (第4号) (人件費)	指定管理者の指定 (町内スポーツ施設等 北栄スポーツクラブ 5年間)
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正 (人事院勧告に準じ期末手当0.15月の増額)	風力発電特別会計 (第2号) (人件費及び修繕費)	教育委員会委員の任命の同意 (新委員 別本勝美さん)
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正 (人事院勧告に準じ期末手当0.15月の増額)	水道会計 (第2号) (人件費)	
国民健康保険条例の一部改正 (法律改正に伴うもの)		
公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正 (前納報奨金廃止)		
特別医療費助成条例の一部改正 (法律改正に伴うもの)		

発議第5号 北栄町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 全会一致

○平成26年度人事院勧告に準じて変更するもの (期末手当0.15月の増額)

発議第6号 米の需給・価格安定対策及び需要拡大を求める意見書の提出について 賛成11 反対3

○米価の下落に対する適切な措置を国に要望するもの (提出議員 斉尾智弘・賛成者 津川俊仁)

陳 情 審 査 結 果

陳情件名	陳情者名	採決	委員会の意見
少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請についての陳情	鳥取県教職員組合中部支部 支部長 川上 慎治	採択 全会一致	子ども達へ教育は極めて重要である。教育の機会均等と水準の維持向上をはかる必要がある。 →政府に意見書を提出
子ども・子育て支援新制度の実施に関する陳情	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	採択 全会一致	十分な保育を保障することは重要である。 →町長・教育委員長に送付
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情等3件	北条小・大栄小・北条中大栄中 各PTA会長	採択 全会一致	教育環境の充実が必要である →町長・教育委員長に送付

※詳細はHPをご覧ください。

農業振興基本計画

目指す農業の推進は

町長 相談体制を整備

宮本

① 農業を取り巻く

環境は一貫して厳しい。高齢化、後継者不足で遊休農地は増加。次世代農業者の安定的な確保策は、
② 農業振興基本計画が検討されているが基本理念をどう推進し、どう取り組むのか。計画の執行には農業従事者の取り組みが不可欠と考えるがどう推進していくか。

町長

① 農業者の高齢化で担

い手不足、耕作放棄地の増加、主要作物も横ばいである。新規就農者確保が重要な施策であり、国の支援交付金等で相談体制の整備など財政面からもフォローする。今後は、ベテラン農業従事者の指導や研修制度などを実施したい。
② 基本理念を確立するには何が必要か、策定委員会と協議し文書化した。今後、事業部分については、協議を進めていきたい。

計画の執行には、従事者の取り組みが不可欠である、計画策定段階で十分検討したい。



宮本 幸美



新規就農者

北栄町障がい者計画

庁舎にエレベーター

町長 統合時に検討

飯田 ①障がい者計画改定にあたって、障がいのある方すべてを対象に、アンケートを実施して、計画に反映しているのか。

②福祉、医療、保健、教育等の連携をさらに推進すべきでは。

③車椅子の方の2、3階への移動手段は人力で対応すると言っているが、不自然だ。障がいのある人はエレベーターが必要では。

④外出支援・余暇支援・交流の中に農業体験などを取り入れて、健康者と協働する可能性を模索しては。



飯田 正征



町長 ①アンケート調査は、一定の人に実施すれば方向性が探せると思うが、他の声も聞くべきと思う。

②各箇所の連携は、見直し段階の課長会で意見集約し、計画に反映している。

③エレベーターの取り付けは、庁舎の内側は難しい。付けるなら外側だろうが、庁舎統合の際に考えたい。

④様々な支援活動は、行政だけでなく事業所や本人と検討したい。

「弁当の日」の取り組み

生きる力の基礎

町長 今後も継続して

教委長 家庭科学習の中で



森本 真理子

森本 香川県の先生が始められた「弁当の日」は子ども達が生涯にわたり、心身共に健康な生活を送る事ができるよう、また親子で食事について考えるきっかけや感謝の心を育てるきっかけ作りになると思う。本町でも取り組んでほしい。

町長 本町では、平成24年竹下和夫先生を講師に招き、食育講演会を開催。25年から小学5年生が家庭科の調理実習や親子クッキング事業をおし



て、調理体験をし自分で弁当を作っている。調理体験を通して、感謝の気持ちや自立心を養うことを目的にし、イベントで終わることなく、今後も継続して食育を推進していきたい。

教育委員長

学校では、家庭科学習において、食の意味、栄養、食の安全について学習している。本年度は、両小学校で同日参観日に調理実習を行い、実習の様子を参観してもらい、親子で食育の重要性を学んだ。家庭での理解・協力も欠かせない。

町政インタビュー

子ども達の安全対策

防犯体制の充実を

町長 防犯カメラは増設困難

教委長 実効性のある防犯教育を



油本 町内の防犯カメラ設置状況は、通学路や町内各所に設置すれば、犯罪捜査や不審者対策に一層有効では。また通学路の防犯灯の増設や修理を望む声に、対応しているのか。そして緊急時に自分の安全を守るため、体験型安全教育を防犯教育の一環として取り入れてはどうか。



油本 朋也

町長 防犯カメラはコナン大橋に2基あるが、それ以上は費用や住民のプライバシー保護など様々な困難な問題がある。児童生徒には従来通り住民の皆様の目による犯罪防止効果を期待したい。防犯灯は子ども達の安全を最優先に考慮し、増設を検討したい。万一の場合の防犯教育は、教育委員会で協議され、取り組んでいくことを望む。

教育委員長

防犯カメラ設置は、プライバシー保護など課題が多い。従来通り、PTA、地域の連携で子ども達を守りたい。教育委員会は自治体などの要望により、防犯灯を毎年現地で確認し、必要な予算措置を行っている。防犯教育は、以前からの指導に加え、関係機関と連携した体験型安全教育を取り入れ実効性のある取り組みをしていきたい。

ネットワーク

支え合い制度の創設

町長 助け合いが不可欠

町田 超高齢化を見据えて、日常生活に支援の必要な人も増加する中、支え合い制度を創設し、意識改革の取り組み、住民主体のネットワーク作りが必要では。更に社会福祉協議会との連携は。

町長 病気や障がいなど、手助けや支援の必要な方は、公的な制度だけでは対応できないことも多い。地域の中で見守り、助け合いが不可欠である。近隣のつながりや助け合いは、緊急時にも必要である。社会福祉協議会とも協働して、意識改革に取り組んでいる。



町田 貴子



町政インタビュー

不妊治療

男性にも費用助成

町長 助成制度の周知に努力



飯田 正征



飯田 不妊治療は女性というイメージがあるが、実際には原因の半分は男性（無精子症など）にあると言われていいる。男性の治療費が助成の対象になるのは、その過程で手術した場合などに限られる。女性を対象とした治療費を男性にまで広げ、男性が積極的に取り組める環境整備が必要。町報等で周知しては。

町長 県では特定不妊治療に要する費用の一部を助成しており、その範囲内には男性不妊治療に係る医療費も含まれている。町では平成23年度から県と同様に、特定不妊治療に対して年間17万5千円を限度額として助成する制度を始め、男性不妊治療にも助成している。町報や婚姻届けの時にチラシを配布するなど、周知に努めたい。

※特定不妊治療……体外受精および顕微受精

生活困窮者自立支援法

相談窓口は

町長 福祉課が対応

教委長 関係課と連携

農委員長 技術習得は困難



津川 俊仁



津川 ① 自立支援事業についての相談窓口はどのようになるのか。
② 学習支援の方法は。教育委員会との連携が不可欠だが、③ 就労準備支援としてその職場を農業に求められないのか。

教育委員長 ② 関係課や学校と情報を共有しながら連携をはかりたい。大栄文化センターでは、人権教育・啓発の発信拠点として、より多くの方が利用する施設を目指す。

農業委員長 ③ 農業経営上としてとらえる雇用期間が短くなることが予想され、技術習得としては困難。

町政ここを問う

改定介護保険認定制度

要支援認定の判断は

町長 3種の専門職員で

長谷川 制度の改悪により、要支援への訪問・通所サービスが外される。それによって、専門的なサービスが受けられなくなる心配がある。

① 要介護認定申請の手続きを踏まず、専門的なサービスが必要かどうか、判断は。

② 地域支援事業のみの利用であっても、介護認定調査をし、必要な

らは専門的サービスをすべきと考える。

町長 ① 介護保険法の一部改正により、要支援1、2の認定を受けた方が介護予防サービス給付のうち、訪問介護、通所介護を「介護予防事業」として移行、平成29年4月から市町村で実施することになる。その判定は、主任介護専門員・社会福祉士・看護師の職員ですることにより、効果的である。



率的な事業を展開できるようにする。

② 制度改定を受け、地域支援事業に移行し、必要なサービスが出来るように地域包括ケアシステムの研究会を立ち上げており、今後も取り組んでいく。



長谷川 昭二

ピロリ菌検査

中学生に実施を

町長 関係機関と相談、調整

斉尾 胃がんの98%は、胃にすみついていてピロリ菌によって発生することが明らかになってきた。若いうちに除菌できれば、胃がんになる確率を限りなく低くできる。中学卒業までが理想だといわれている。胃がんで苦しむ人をなくすために、中学生のピロリ菌検査を求める。

町長 県内では中学生を対象とした検査を実施している自治体はないが、若年層の中学生を対象とした検査及び感染者に対する除菌治療は、胃がんのリスクを軽減する効果を期待できると考えている。いずれにしても中学生にピロリ菌検査を実施していくよう、関係機関と相談、調整をしていく。



斉尾 智弘

町政ここを問う

北条放水路地盤沈下

県への積極的対応を

町長 強く申し入れる



平成25年9月知事に要望

池田 県知事は「全面的に県の責任である」との発言にもかかわらず、その対応には怒りを感じる。本年度中に今後の対応方針、策定の確約は。地元は苦慮している。町が積極的に県に対し対応するべきと考えるが。



池田 捷昭

池田

県知事は「全面的に県の責任である」との発言にもかかわらず、その対応には怒りを感じる。本年度中に今後の対応方針、策定の確約は。地元は苦慮している。町が積極的に県に対し対応するべきと考えるが。

町長

11月7日に「北条川放水路に関する課題と対策」について中部総合事務所長、局長と課長と意見交換会を行った。

11月10日議会特別委員会で経過報告と今後の方針を説明。

11月14日副町長が、総務部長及び県土整備部長と面談し、今後の対策計画については早急に地元と協議を行うと説明をつけた。

12月16日地元の委員長等と今後のすすめ方を心くめて協議する。地元と一緒に年度内には対策が提出されるよう申し入れしていく。

庁舎統合

今はその時ではない

町長 統合は必要



池田 捷昭

池田

町が発展する土台は、町民の融和でないかと考える。合併協定書もこの考えで、旧北条町で議決をして今に至る。社会情勢が変わったから統合とのことだが、社会情勢は変わっていない。人口減少、交通網の発展、情報インフラなどといった日か「中部は一つ」にならないならばならない時期が来る。箱ものはその時でよいと考えるが。

現在の検討状況は、災害への一元的な対応、健全な財政運営などを考慮すれば、庁舎統合は必要である。概要は北条庁舎に

ある農業委員会、産業振興課、地域整備課を大栄庁舎に移動し、2階会議室を事務室へ改修。北条地区に残る支所は健康福祉センターを改修し、総合窓口とし、北条地域のまちづくりを推進する部署を設ける。スケジュールは来年度中に設計、平成28年度中に工事を行い、平成29年度中に統合できるよう考えている。北条庁舎は毎年1300万円の維持費が必要であることから先延ばし出来ない」と認識している。



北条健康福祉センター

庁舎統合

住民アンケートを

町長 考えていない

前田

平成25年12月定例

議会で、庁舎統合は反対である、と表明し質問を終えた。町長は、平成26年夏頃には統合へのスケジュールや予算を議会に提示したい、と答弁したが、未だ提示されない。進捗よく状況は、きめ細かい住民説明会や、住民意向アンケートを実施すべきでは。

町長

危機管理への一元的な

対応、行財政運営の健全化を図るため、先延ばしすることなく庁舎統合に取組んでいく考えに、変更はない。

進捗よく状況は、従前案から事業内容、経費を大幅に見直し、加えて北条地域の賑わいが損なわれないよう再検討中である。詳細は、あらためて議会で報告するが、意見を伺いながら住民合意の上で進めたい。統合案ができたなら住民説明会を実施するが、住民意向アンケートは考えていない。



前田 栄治



北条庁舎

ゴルフボール飛来 覚書の締結は

町長 早急に締結したい

池田

9月議会で覚書の締結をするとの発言。

いまだに締結されていない。その場逃れの答弁と言わざるをえない。年内に締結されたい。併せて一球たりとも飛来しないよう指導を。

町長

覚書の締結については

自治会、ゴルフ練習場、全農ととり、そして町の4者で行いたい。先ず、当事者である自治会に覚書の案を提示し、同意をいただいた。その後、全農ととりと4回の協議で同意をいただき、11月19日に現地に出向き、覚

書案を提示した。早急に締結したい。覚書を締結した後は、一球も場外に飛び出さないよう対応を求めていく。



町政のことを問う

町政のことを問う



田中 精一

高齢者の運転免許

自主返納者に支援を

町長 独自の制度を検討

田中

平成10年に「運転免許証の自主返納」が制度化された。平成26年10月末の町内の満75歳以上の保有者は、1,010人である。

1月から9月までに、町内の全運転免許保有者のうち自主返納した者は、12人あった。

今後、ますます超高齢化社会を迎え、町民の交通安全、安心の観点から、自主返納を推進することは、町として有益である。この際、町として支援・サポートを、積極的に展開すべきではないか。

町長

高齢者ドライバーの事故増加は、心配である。町民の安心・安全の確保の観点から、自主返納を推進することは有益であり、制度の周知に努めたい。

自主返納者に対する町独自の支援・サポートを検討したい。「タクシー利用料の助成」の対象地域外であっても、自主返納者を新たに加える方向や「乗り合いタクシー」の半額割引を検討したい。路線バスやJRの運賃割引について、中部市町と連携し事業者へ申し入れたい。



町政ここを問う

新たな自治会交付金

避難所機能の強化

町長 現行の防災交付金で対応

前田

昨年度から、風力発電事業の利益の一部を原資とした「風の町づくり事業」がスタートしている。しかし、町民に等しく利益還元

の恩恵が行きわたっていない。第二段として、自治会館を緊急避難場所として位置づけ、機能強化を図るため、新たな自主防災交付金を、各自治会に均等に交付してはどうか。

町長

自治会館等への太陽光発電設備の設置は、昨年度9自治会と今年度5自治会の計14自治会で取組まれた。設置自治会からは、概ね好評のご意見である。今後さらに取組みが進むことを期待している。その他自治会防犯灯や町設置防犯灯等のLED化も約半数が整備され、平成28年度には完了予定である。

自治会公民館の機能強化については、現行の自主防災組織が行う、防災資機材を整備するための、助成制度を活用してほしい。



前田 栄治

地域おこし協力隊

隊員の活動は

町長 地元地域おこし

斉尾

地域おこし協力隊

は、総務省が平成21年度に創設した地方への定住支援策。北栄町では2名の隊員を受け入れているが、3年後に定住まで結びつけるためのどんな活動をしているのか。また、受け入れ側のフォロワー体制はどうなっているのか。さらに今後の新たな隊員募集はされるのか。

町長

現在2名の隊員を採用し妻波地区内で地元地域おこしをやっていく。1人は、6次産業化に興味を持ち、もう1人は、就農を考えている。技術については、地元の人に相談し、地域の活動や行事にも参加している。妻波地区での取り組みの報告会を開催し、受け入れと理解を求めていく。今後の隊員の受け入れについては、明確なビジョンを示しながら募集していく。



町長

国に対して、地方企業を優遇する税制上の取り組みや企業・事業所の地方への移転、さらに起業を促進させるような施策に取り組むことを訴えたい。

県に対して企業誘致に加え、就職相談会の実施や地域産業のさらなる発展など、雇用・就職の促進など、雇用・就職の促進など、雇用・就職の促進

人口減少問題

移住定住へ支援を

町長 雇用の場の創出・確保を要請



森本 真理子

森本

少子化対策の一環

として暮らしやすい支援が必要だと思ふ。北栄町に移り住む人へ手厚い援助して定住を促してはどうか。

進に資する施策に取り組むよう求めたい。北栄町の特長を活かす取り組み、移住相談会などを通じて情報発信、PRを積極的に行い、本町を知っていただき、移住・定住につなげたい。



斉尾 智弘





池田 捷昭

税金、使用料等の値上げの可否

具体的な説明がない

町長 行革の推進が最優先

池田

9月定例
議会で、

「町財政が厳しくなる。公共料金の値上げをされるのか」。との問いに、「行革でコンパクトな自治体を目指す」と答弁されたが、具体的な説明はない。町民の将来生活のためにも税金等の値上げの可否について、どのような説明をするのか。

町長

徹底した行
革を推進す
ることが最優先である。

来年度にかけて、識者、町民といった外部の目による指摘や評価により、役割を終えた事業、民間に任せることが適当である事業などを徹底してあぶり出し、行革の促進をする。その上で、財源が不足するような場合には、負担をお願いすることもある。その時は説明会を実施するなど、議会や町民への丁寧な説明が必要であると考えている。



町政についてを問う

北溟中学校用地

統合時に清算を

町長 方針に変更なし



前田 栄治

前田

北溟中
校の用地

46,875㎡は、旧町村の協定書や町村合併後の覚書で、その3分の1が北栄町の持分と明記してある。現時点でのこの土地の総額とその坪単価はいくらか。この用地は、北溟中学校と東郷中学校の統合時に全てを清算すべきと考えるが、現在の湯梨浜町との話し合いの経過と、用地処分の方針は。

町長

協定書は、
「当時の北

条町が組合立北溟中学校から脱退後にあっても、学校用地の所有権は現状のまま保留とし、この土地の用途を廃止した場合



には、北条町の持分は3分の1とする」である。さらに市町村合併に伴い北栄町と湯梨浜町で権利関係の覚書を締結している。現時点での近隣地の公定土地価格で換算すると約1億546万円、坪単価は7,400円である。新中学校に統合後の跡地の取扱いは、まだ具体的に協議されていないが、そうなれば、北溟中学校用地は協定書どおり清算するのが本位であると考えており、当初の方針に変わりはない。

まちづくり

地方創生で賑いを

町長 方向性を議会や町民へ

宮本

風車も順
調に運転

し、ふるさと館も賑わっている。このたび、「鳥取砂丘コナン空港」と愛称が決定。歓迎したい。新しい発想で賑わいのあるまちづくりを目指す。今、国が地方創生の施策を進めている中でふるさと館周辺の整備、プラント計画等の案件を再検討しては。

町長

国の地方創
生に対する
意気込みが感じられる。

今後示される国の総合戦略を踏まえて、平成27年度中に正式な「人口ビジョン」「総合戦略」を策定したい。大きな方向性を議会や町民にお示しする。早急に事業化すべきものは先送りすることなく積極的に進める。県と歩調を合わせ地方創生に取り組み、賑わいと活力のある町に力を尽くしていきたい。



宮本 幸美

地方創生事業

どんな事業に取り組むか

町長 町の誇れる分野で

前田

総理大臣
が、所信

表明演説で島根県隠岐島の海士町の取組みや、本県の大山地ビールの取組みを引用し、地方創生へ力を入れることを表明された。取り組み次第で、多額の地方創生交付金が拠出される大チャンスである。10月下旬には鳥取県も人口減少、地方創生プロジェクトを立ち上げた。本町は、どういった取り組みを考えているか。

町長

地方創生大
臣が、今回

の「地方創生」は地方が自ら考え、責任を持って取り組むことが重要であり、地方の特性を活かした大胆な提言・主張を期待する、とコメントされた。

町としては人口減少対策や子育て支援、農業振興、環境エネルギー施策、観光振興など町の誇れる分野を中心に、町の魅力向上と住んでみたいと思われるようなまちづくりを目指し、具体的な「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定の準備に入った。



町政についてを問う



齊尾 智弘

「コナンの町」づくり 鳥取砂丘コナン空港に

町長 チャンスを逃すことなく

齊尾

北栄町は名探偵コナンを活用して、町おこしができる唯一の町である。鳥取砂丘コナン空港の愛称が決定した。今こそこの機会を利用し、国内はもとより海外の観光客をふやすため、周辺の整備やイベントの開催等実施すべきでは。

町長

この愛称決定というチャンス逃すことなく観光客の増加を図りたい。



町政ここを問う

自治会の太陽光発電設置補助 公平な配分を

町長 エネルギーの地産地消

阪本

固定価格買取制度の欠陥が発覚、平成25年度予算案の不安が現実となった。認定量が受け入れ可能量の2倍以上となり、買取制限が家庭用にも及び、買取費用が電気料金に上乗せされる恐れがある。自治会太陽光発電設置補助は見直し、公平で分かり易い風車基金の配分をすべき。

町長

現在、太陽光発電設備を14自治会が設置している。この年末・年始の総会で検討される自治会もある。売電収入で、自治会の財源を確保し、活性化が図られると期待している。今後も公共施設の屋根がし事業など進めていく。国は再生可能エネルギーの最大限の導入の方針を示した。エネルギーの地産地消で活性化を図ることが地方創生にも資すると考えている。



阪本 和俊



『議会出前座談会』

平成26年6月と9月定例議会の審議内容の報告と、町政全般について、町民皆さんの質疑に答える「議会出前座談会」を開催しました。11月7日に由良宿1区、13日に原と2つの自治会を対象に実施し、49名の方に参加いただきました。

由良宿1区自治会

問

視察に時間をさいているようだが、何を待たのか議会で検討し、町政に生かしてほしい。

答

視察結果の報告は、次の議会で行います。その後、その視察での成果や得られたものについて委員会や全員協議会で協議し、執行部への提案や質問を行うことで、町政に活かせるようにしています。また、視察結果の報告は、ホームページでの公開や議会だよりで町民の皆さんにもお知らせするようにしています。



町への要望等

由良宿1区では地域の共同作業が、例えばクレーン作戦など、町では

なく県が相手となる。川岸の草刈り、清掃作業などは町を飛び越えて、県への要望となるが、町に何とか後押ししてほしい。

- J A鳥取中央大栄支所前のガソリンスタンド跡地を何とかしてほしい。
- 宅地化が進んで、畑灌(はたかん)の水が出なくなつた。畑灌道路(2m未舗装路)の維持管理は誰が行うのか。要望してもたらい回しされては困る。
- 町道の草刈りのガソリン代の支援、草刈機も足りない。町の助成が欲しい。
- 運転免許試験場跡地は、巨大迷路もさることながら、敷地の用途をはっきりさせてほしい。
- 町民運動会は大栄地区の参加自治会が少ない。今年は全部で26自治会のうち、7自治会であった。お台場公園でもできるのではないかと。そうすれば大栄地区の参加が増える。砂丘祭りもお台場公園でやってほしい。

原自治会

問

教育民生の視察や研修をどのように活用していくのか。

答

視察での成果や得られたものについて委員会や全員協議会で協議し、執行部への提案や質問を行うことで、町政に活かせるようにしています。

町への要望等

- 県の計画では45歳までの新規就農者には、手厚いものがあるがそれ以上の人にはない。また、遊休農地を減らしたいといながら、北栄町では50アル以上もってなければ貸し借りができないといわれた。検討してほしい。
- 北栄小のスクールバス導入は、児童の安全確保のためだが、中学生の安全も考えてほしい。街灯の整備や通学路を見直ししてほしい。不審者の事案もあるので再検討してほしい。

北栄町議会 出前座談会





かわいい 双子 ちゃん

掲載
双子ちゃん
募集中

梅津 いっせい **創世**くん・こうせい **恒世**くん
(左) (右) (11歳・東亀谷)

中学生の兄の影響で二人とも「くろぼくガッツ」ドッジボールチームに入っています。日曜日に対外試合があり、先日は大阪に行ってきました。いつも応援に行きます。けがや病気をせず、心の優しい人になってほしいと思っています。



福庭 かける **翔龍**くん・たける **尊龍**くん
(左) (右) (12歳・田井)

尊龍も翔龍も、2年生から始めた野球に頑張っています。今春に小学校を卒業し中学生となりますが、野球をとおして学んだ仲間を大切にする心と感謝する気持ちを忘れずに、野球と勉強の両立を目標に頑張してほしいです。



知っとななる？こんな北栄

旧中北条村慰霊碑 (国坂神社内)



平成十五年までは神式によるもので、舞楽等他社の新宮の協力を得て行っていた、平成十八年より宗教色が無くなり、黙とうや献花で追悼するようになった。

旧山陰合同銀行由良支店 (由良宿2区)



大正九年から由良宿の遷り変わりを見とけていた建物がある。旧山陰合同銀行由良支店である。当時、雲陽実業銀行由良支店としてスタートし、昭和六十一年には由良宿二区に払い下げられ、部落公民館に衣替えした。今は「中野かじや」として健在である。一階の窓には鉄格子あり、まさに銀行の風情そのものである。正面右側にATMコーナーの名残もあり、まさに銀行の風情そのものである。築一〇〇年まで、あと僅か。いつまでも、由良宿を見守っていて欲しい。

お詫び・平成26年11月発行「議会だより34号」の「知っとななる？こんな北栄」に誤りがありました。正しくは「菟山（かりやま）神社」でした。訂正してお詫びいたします。

編集後記

今月号の「知っとななる？こんな北栄」で、旧町立由良小学校の玄関前にあった「宮尊徳(通称：金次郎)像」を取り上げようと、カメラを持参で現地取材に出かけた。ところが、台座はあるが、肝必要のご本体は、跡形もなく消えていた。

元々は金属製の金次郎像が設置されていたのだが、戦争でやむなく供出。私の知る金次郎像は、その代用品として設置された陶器製の像であったが、朽ち果てたらしい。

「薪を背負いながら、本を読んだ」金次郎少年の教えは、これからも語り伝えたいものである。

田中 精一

発行責任者

議長 井上信一郎

編集

- 広報公聴常任委員会
- 委員長 宮本 幸美
- 副委員長 斉尾 智弘
- 油本 朋也
- 森本真理子
- 田中 精一
- 浜本 武代